

竹取物語

②

1

次の古文と現代語訳を読んで、後の問いに答えなさい。

〔古文〕

今は昔、竹取の翁たけとり おきなといふものありけり。野山にまじりて竹を取りつつ、よろづのことに使ひけり。名をば、さぬきのみやつことなむいひける。

① その竹の中に、もと光る竹なむ一筋ありける。
あやしがりて、寄りて見るに、筒つづの中光りたり。
② それを見れば、三寸ばかりなる人、いとうつくしうてゐたり。

〔現代語訳〕

昔々のこと、竹取の翁という者がいた。(翁は)野や山に分け入って竹を取っては、さまざまな物を作るのに使っていた。(翁の)名前は、とあった。
(ある日のこと、)その竹林の中に、根元が光っている竹が一本あった。、近寄って見ると、(竹の)筒の中が光っていた。それを見ると、三寸ほどの人が、とても座まわっていた。

(1) ①・③のここでの意味として最も適切なものを、次の中から一つずつ選び、それぞれ記号で答えなさい。

①
ア 恐ろしく思つて
イ 危ないことと思つて
ウ 不思議に思つて
エ 疑わしいことと思つて

③
ア かわいらしい様子で
イ 弱々しい様子で
ウ さびしげな様子で
エ はなやかな様子で

①
③

(2) ②が指している言葉を古文中から三字で書き抜きなさい。

(3) 『竹取物語』が成立したとされる時代はいつですか。漢字二字で答えなさい。

時代

組 番 名前

かかった時間 正解数
分

